



2学期の始めにあたって

校長 川村 寿満

40日間の夏休みが終わりました。歴史的な雨量となった大雨や県内でのコロナ感染症の感染再拡大など、不安になるニュースが多かった夏休みでしたが、子供たちに大きな事故やけがもなく2学期を迎えることができたことが何よりでした。これも夏休みの間、子供たちの生活を見守り、声を掛けてくださった保護者や地域の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

そんな夏休みの中でも、今年が一番は、日本でオリンピック・パラリンピックが開催されたことでしょうか。多くの日本人選手が活躍し、特にオリンピックの野球やソフトボール、レスリングなどでは、絶体絶命の場面から逆転勝ちする試合が多くありました。身近なところでは、磐田市出身の卓球の水谷隼選手・伊藤美誠選手が、今まで幾度となく苦杯を嘗めてきた中国に勝って金メダルを獲得しました。あと1点取られたら負けという不利な状況でも絶対に勝つという強い心で試合に臨む様子を見て、日本人も随分心が逞しくなったと感じました。私たちもそのようになりたいものです。



さて、今日から12月22日（水）まで、79日間の2学期が始まります。これからの時期を自然界では、稲や柿や栗などが豊かに実る「実りの秋」と言います。それと同じように学校も「実りの2学期」です。学校での「実り」とは、国語や算数などの勉強が分かるようになること。また、「天高く馬肥ゆる秋」でもありますから、体を鍛えて、丈夫な体づくりをすることです。この「実り」が大きければ大きいほど「よく学んだ」ということになります。

「学校は学ぶところ」です。「学ぶ」ためには、「解らないことを分かって」とする気持ち、「できないことに挑戦しよう」という気持ちを持たなければなりません。「我慢」をしなければならない時があるということを知らなければなりません。「苦しい」ことや「辛い」こと、嫌な思いや「つまらないなあ」とか「やりたくないなあ」といった思いを乗り越えなければなりません。自分の望むことだけをそのままに行ったり、言ったりしていただけでは到底できることではありません。「克己」の心を持ち、友達の姿に学んだり、先生や家の人の言葉に耳を傾けたりして、学習や生活ができるよう私たちも応援していきます。子供たち一人ひとりの姿を刮目（注意してよく見ること）し、目の前の子供が、「乗り越えようとする」その瞬間を見逃すことなく、支援をしていきます。

2学期は、コロナウイルスの感染拡大状況によっては、教育活動の急な変更や中止等も予想されますが、保護者や地域の皆様の変わらぬ御理解と御支援・御協力をお願いいたします。

夏休み直前及び夏休み直後に30分間回泳、音楽部による校内発表会を行いましたので、紹介します。

「最後まで頑張った30分間回泳」

昨年度、30分間回泳は行われませんでした。本年度は、浜松市内、各学校のプールにおいて30分間回泳を行いました。本校は、7月16日（金）に6年生が、19日（月）に5年生が行いました。参加した子供たちは、最後まで一生懸命頑張る姿が見られました。新型コロナウイルス感染予防のため、応援の歓声は上げられませんでした。終了の合図とともに見守っていた教員から温かな拍手が送られました。



【30分間回泳の様子】

「すてきな演奏を聴かせてくれた校内発表会」

7月27日（火）本校の体育館にて、音楽部の校内発表会を行いました。

披露したのは、「スパイ大作戦のテーマ」と「dynamite」の2曲。1学期間、練習してきた成果を発揮し、すてきな演奏を聴かせてくれました。子供たちは、心を一つにして演奏を作り上げることのすばらしさを感じたことと思います。



【音楽部の演奏の様子】

お知らせ

年度当初、配布しました年間計画では、10月13日（水）は、「普通日課で給食あり」になっておりましたが、「特別日課3時間で全校下校11時」のため、給食はありません。また、1月24日（月）は、「弁当の日」と設定していましたが、「給食あり」に変更いたします。よろしくお願いいたします。